

ゴールデンウィークにおける豚熱、アフリカ豚熱、 口蹄疫等の防疫対策の徹底について

豚熱は、昨年8月に飛び火のように九州で初めて発生があり、本県でもいつ発生しても不思議ではない状況にあります。アフリカ豚熱は、国内での発生はないものの、韓国釜山広域市の日本行フェリー乗場付近で、昨年暮れから相次いでウイルスに感染した野生イノシシが確認されており、人や物を介してウイルスが侵入するリスクが非常に高まっている状況です。さらに口蹄疫もアジア地域に広く浸潤していることから、引き続き警戒を強める必要があります。以下の対策の徹底をお願いします。

1 畜産関係者の海外渡航の自粛

- 豚熱、アフリカ豚熱、口蹄疫等の発生地域への不要不急の渡航を自粛してください

2 外国人従業員の方が従事する農場での注意点

- 外国人従業員の方を受け入れている農場では、母国から肉製品が国際郵便物等によって持ち込まれることのないよう従業員に周知してください

3 農場の防疫対策

- 飼養衛生管理基準に基づく病原体の侵入防止対策を徹底して下さい。特に観光地周辺の農場では看板等による掲示を徹底し、観光客を含め家畜の飼養管理に関係のない者が**無断**で立ち入ることがないようにお願いします。
- 農場内及び周囲において野生動物が隠れることができる場所をなくし、飼料等のこぼれを放置しないようにお願いします。

4 早期発見及び早期通報

- 豚熱、アフリカ豚熱、口蹄疫等の特定症状が見られた場合、速やかに当所に報告ください。
- 飼養家畜の健康観察を入念に行い、早期発見に努めてください。

県南家畜保健衛生所 TEL：0957-68-1177

防疫課メールアドレス：s11350@pref.nagasaki.lg.jp

※土日祝日の休庁日は上記の電話番号
に連絡をお願いします。

